

## 工藤篤子メールマガジン 22号

2003.01.07

### ●良き力に守られて

明けましておめでとうございます！

12月29日、無事ハンブルグに戻りました。友人の Ute が車で迎えに来てくれていました。彼女の顔を見た途端に、感覚がすっかりドイツに戻りました。今、久しぶりに我が家で安堵感にひたっています。



昨秋、多くの移動の中で、25本のコンサートを無事終えることができたのは、主の御力以外のなにものでもありませんでした。そして、皆さんの「祈り」という大きな支えがあればこそでした。ほんとうにありがとうございました！

昨年、多くの方々からクリスマスカードやメールをいただきました。ありがとうございました！大変励まされました。ひとりひとりにお返事を出せなかったことをどうぞお許し下さい。

### ●うれしかったこと●

今回、大変うれしかったことは、ヨーロッパ、アメリカからの帰国者あるいは一時帰国者がコンサートに駆けつけてくださったこと、そして欧州在住の兄弟姉妹が日本の知人友人にコンサートの案内をしてくださり、それを通して来てくださった方が随分いらっしゃいました。

一時帰国者の何人かは、「日本に来たら、友人達を教会につなげたい。」と日本滞在中、伝道に励んでいました。「私たち、日本では風なのだから。」と言う彼女たちに、私も大いに励まされました。

ニュースレターの冒頭に、「欧州と日本の架け橋『工藤篤子音楽ミニストリーズ』」と掲げてあります。その時々にはふさわしい同労者が与えられて伝道が広げられて来ているのは本当に感謝です。

### ♪♪新年を迎えるにあたって賛美した歌♪♪

第二次世界大戦中、ドイツのナチに抵抗した、「告白教会」という、動きがありました。その代表的人物のひとりが、神学者ディートリッヒ・ボンヘッファーでした。彼はそのために強制収容所で処刑されました。ご存じの方も多いのではないのでしょうか。彼の最後の消息となった「新しき1945年」（良き力に守られて）という詩があります。それにジークフリート・フィーツという人が曲をつけました。

ドイツの母教会では、この歌を、毎年大晦日の深夜12時に歌い、新年迎えました。今年は、私一人で静かに新年を迎えましたが、やはりこの歌を賛美しました。皆さんにこの素晴らしい、深い信仰の歌をご紹介します。

「良き力に守られて」 ディートリッヒ・ボンヘッファー （1945年ベルリンのゲシュタポ監獄中）

良き力に誠実に静かに抱かれ、  
不思議にも守られ慰められて、  
私はこの日々をあなたたちと共に生き、  
そしてあなたたちと共に新しい年へと歩んでゆく。

古い年は私たちの心をなおも悩まし  
邪悪な日々はさらに私たちに重くのしかかるだろう。  
ああ、主よ。このおじ惑う魂に、  
あなたが備えてくださった救いを与えてください。

あなたが あのにがき苦しみの杯を、  
なみなみとついで差し出されるなら、  
私たちはそれを、ためらわずに感謝して、  
あなたのいつくしみ深き愛の御手から受け取りましょう。

しかし、この世と太陽の輝きとに対する喜びを、  
あなたがなお私たちにくださるなら、  
私たちの過去を思い返しながら、  
私たちのすべてをあなたに委ねましょう。

あなたが私たちの闇の中に持ってきてくださったろうそくを、  
今日暖かく静かに燃やしてください。  
できることなら、私たちをいつか再び会わせてください。  
私たちは知っています。あなたの光が夜の闇を貫いて輝くことを。

静寂が今や深く私たちの回りを包む時、  
共に聞こうではないか、  
ひそやかに私たちの回りに広がって行く、世界のあの音の豊かな響きを。  
あなたのすべての子らが高らかに歌う賛美を。

良き力に不思議にも守られて、  
私たちは信仰をもって来るべきものを待つ。  
神は夕も朝も、そして毎日、  
必ず確かに私たちと共におられる。

## ■お祈りください

1月15日～27日、ルーマニアの各地で賛美奉仕を予定しています。どうぞお祈り下さい。

今年も主に信頼し、主の愛に感謝しながら、そしてどんな時にも主を証ししながら、共に歩みましょう！

感謝をこめて

工藤篤子